

「サランの会」の皆様へ感謝します。エレベーター改修工事を終えて

理事 児玉 雪江

呉ベタニアホーム施設長 宮岡 尚子

ない時間を過ぎて欲しいと思ひ、ご家族に、体調管理などの協力をお願いして、面会をしていただくことにしました。その後、Aさんは親密な時を、心置きなく、ご家族と過ごされて、静かに息を引きとられました。Aさんの穏やかな死とご家族から頂いた感謝の言葉は、感染症と看取りで張り詰めていた私たちに、癒しと力を与えてくれました。

この度の看取りでは、新型コロナウイルスからは守られましたが、いつ私たちの施設でも感染が拡大するかわかりません。とはいえ、新型コロナウイルスばかりに注意が向くと、利用者の認知症が進んだり、足腰が弱って転倒したりする、悪影響も考えられます。なので、感染症を予防しながら、利用者の生活の質を落とさない新しい介護の仕方を目指して、さまざまなチャレンジをしています。



グループホームベタにあ おやつレク フルーツ寒天

この度、コロナ禍により活動休止していたボランティアグループ「サランの会」が解散されました。

「サランの会」は1998年施設開設と同時に活動を始められました。

代表の河上啓子さんをはじめメンバーの皆さんは入居者のために施設内で、定期的にお茶の会を開いて、入居者の皆さんのお話を聞き、お部屋に閉じこもらないようコーラス・俳句・習字・刺繍・手芸・絵手紙の場作りや、入居者からの要望で、洋服のボタン付けやサイズ直し、ほころびの繕いなどの手助けをしてくださいました。

2004年からは第3地区「ふれあいサロン」を企画・準備され、地域の方々が気軽に当施設に集まるきっかけとなりました。

言葉は尽きませんが、「サランの会」の皆様は21年間もの長い間のご奉仕に、心から御礼を申し上げます。

これまでの愛の働きに神さまが、お一人おひとりに豊かに報いてくださいますよう、お祈り致します。

クリスマスおめでとうございます。新年の祝福をお祈りします。

呉ハレルヤ会一同

オンラインを使用した研修会

ケアハウス 呉ベタニアホーム

生活相談員 前川 芽衣

9月29日に、記念研修会をZOOMで行いました。当初は感染拡大防止の為、研修内容で参加者を決め、フロアにて研修会を行う予定でした。しかし、呉市で新型コロナウイルス感染のクラスターが発生した事を受け、急遽オンラインを使用した研修へと変更しました。

研修を行うフロアには最大4名が出席し、他にパソコンやタブレットを使用し、別の場所5箇所から各2名ずつ研修へ参加しました。オンラインを使用した研修会は初めてでしたが、音が途切れたり、画面が途中で切れたり等ハプニングはありませんでしたが、研修の内容もよく理解でき、考え、意見を発表する機会もありました。

新型コロナウイルスが流行し、今まで行っていた事が難しくなってきました。今までのようにできなくなると立ち止まらず、他に方法はないか検討し、今回の研修が行えたのだと思います。

変化が求められる今、柔軟な発想で乗り越えていきたい！と考えています。

コロナ禍での対応について

呉ベタニアホーム長 村上 賢

当法人では行政からの通知に従い、家族の面会制限や感染症対策を行っています。外出や面会が出来ない為に、利用者・家族ともにストレスが増大すると考えられます。その為オンライン面会を行える体制を整えました。利用者にはマスクを配り、利用前の体温チェック、手洗い・消毒の徹底、利用者間のソーシャルディスタンスを保ち、感染症対策を行っています。

新型コロナウイルス感染症の収束が、現在も見えない状況ではありますが、引き続き感染症対策に細心の注意を払いながら利用者の生活を支えています。



呉ベタニアホーム長 村上 賢の作品

9階建の当施設はエレベーターが必須です。以前から、エレベーターの不具合・部品の製造の中止、半地下にある機械室の浸水等と懸念されることばかりで改修の検討をしていました。また最近水災害が続いて、改修に踏み切らせざるを得ない状況になりました。

そこで、工事期間のご入居者の過ごし方について職員間での話し合い、アンケートの実施、説明会等で各ご入居者の過ごし方を確認し、長年の課題でありました工事に踏み切ることにしました。2月に工事契約をし、コロナ禍の中、予定通り7月1日にエレベーター改修工事に着工しました。そして8月12日に事故もなく守られ、終了しました。神様に感謝します。またご入居者、保証人の皆様、職員、忍耐して過ぎて下さり感謝します。

今は大雨が降っても安心です。またエレベーター内は広いので、ストレッチャーはそのまま入り、三密を防げるためコロナ感染症の予防にもなります。

オンラインでの夕礼

ハレルヤ 管理者 大上 望

コロナ禍で、利用者・家族の面会は制限され、職員の事業所間の往来は最小限としました。予期せぬ事態は収束しませんが、立ち止まりません。私たちは、本通・長迫・中通の事業所間の情報共有を図る為、ZOOMを活用したオンライン夕礼を7月より開始しました。

夕礼では、里村理事長や宮岡施設長が祈られ、不在の時は出席者で、主の祈りを唱えます。同時刻に別の場所にいる職員が顔を合わせ、祈りを分かち合えるようになりました。この恵みは、予期せぬ事態がもたらしました。今後、逆境に挑み、希望に向かっていきます。



グループホームベタにあの敬老会